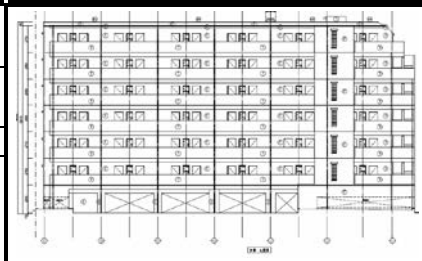




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ルーブル横浜江ヶ崎 新築工事	階数	地上7F、地下0F
建設地	神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町字八幡229番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022/2/1 予定	評価の実施日	2020/9/28
敷地面積	941 m ²	作成者	川邊 和久
建築面積	393 m ²	確認日	2020/9/30
延床面積	2,281 m ²	確認者	船間 隆行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項	
総合	利用者へ配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。
その他	特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能:T-2以上。2.0%≦[昼光率]。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。
Q2 サービス性能	床:フローリング→30年、壁:ビニルクロス貼り→20年、天井:ビニルクロス貼り→30年。主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用。
Q3 室外環境(敷地内)	III.1)外構緑化指数:58.95%。III.2)建物緑化指数:6.79%。植栽により、良好な景観を形成している。I.2)空地率:58.26%。II.1)中・高木、ビロティ等の水平投影面積率:61.50%。III.1)緑被率:47.87%。IV.2)外壁面对策面積率:1.58%。
LR1 エネルギー	[BEI][BEIm] = 1.10。
LR2 資源・マテリアル	LGS使用している。ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。
LR3 敷地外環境	II.2)③隣棟間隔指標Rwが0.83。II.3)①地表面对策面積率が88.44%。II.4)②外壁面对策面積率が1.58%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



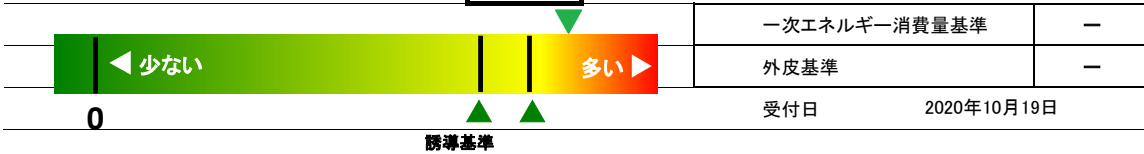
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)ルーブル横浜江ヶ崎 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 1

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 10 %増加



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 1

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 3

■耐用性・信頼性 (⑬耐震・免震 ⑭部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

床:フローリング → 30年、壁:ビニルクロス貼り→20年、天井:ビニルクロス貼り→30年。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.4
(仮称)ルーブル横浜江ヶ崎 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
							評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境									3.1
1 音環境			3.0	0.15	3.3	1.00			3.2
1.1 騒音			3.0	1.00	3.0	0.50			-
1.2 遮音			-	-	3.6	0.50			-
1.2.1 開口部遮音性能			-	-	5.0	0.30			-
1.2.2 界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30			-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音			-	-	-	-			-
2 温熱環境			2.2	0.35	2.6	1.00			2.5
2.1 室温制御			2.2	0.50	3.0	0.50			-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63			-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	3.0	0.38			-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境			3.0	0.25	3.8	1.00			3.6
3.1 屋光利用			3.0	0.43	4.0	0.40			-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	5.0	0.50			-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策			-	-	4.0	0.40			-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	4.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.21	3.0	0.20			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.36	-	-			-
4 空気質環境			3.2	0.25	3.6	1.00			3.5
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63			-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気			2.0	0.40	3.0	0.38			-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33			-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.50	1.0	0.33			-
4.3 運用管理			-	-	-	-			-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-			2.5
1 機能性			2.2	0.40	2.6	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60			-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00			-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40			-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-			-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-			-
2.1.1 耐震性	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2.1.2 免震・制振性能	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.1	0.30	-	-			-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-			-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-			-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-			-
2.4.1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.3 電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.0	1.00			2.1
3.1 空間のゆとり			-	-	1.0	0.50			-
3.1.1 階高のゆとり			-	-	1.0	0.60			-
3.1.2 空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-			-
3.3.1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
3.3.2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
3.3.3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
3.3.4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
3.3.5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 (仮称)ループル横浜江ヶ崎 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			2.5
1	生物環境の保全と創出		⑧生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-			2.0
2	まちなみ・景観への配慮		⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			2.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			2.5
1	建物外皮の熱負荷抑制		①建物の熱負荷抑制	3.0	0.20	-	-			3.0
2	自然エネルギー利用		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3	設備システムの高効率化		③設備システムの高効率化	2.0	0.50	-	-			2.0
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-			3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		④効率的運用	-	-	-	-			-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			2.8
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-			2.2
1.1	節水			1.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-			2.8
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-			3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-			-
1	消火剤			-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-			-
3	冷媒			3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			2.8
1	地球温暖化への配慮			2.5	0.33	-	-			2.5
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-			3.0
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-			-
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-			-
1	騒音			3.0	1.00	-	-			-
2	振動			-	-	-	-			-
3	悪臭			-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-			-
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-			-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-			-
3.3	光害の抑制			3.0	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-			-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			-

上記以外の重点項目									
<事務用途>				-	-	-	-		
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-	-		
健康と安心				-	-	-	-		
1	化学汚染物質の対策		⑥健康対策	3.0	-	-	-		
2	適切な換気計画		⑥健康対策	3.0	-	-	-		
3	結露・カビ対策		⑥健康対策	3.0	-	-	-		
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		⑦防犯対策	1.0	-	-	-		